

（1）学部、学科、研究科、専攻ごとの名称及び教育研究上の目的及び学校教育法施行規則第百六十五条の二 第一項の規定により定める方針

学部、学科、研究科、専攻ごとの名称（令和4年5月1日現在）

学部／研究科	学科／専攻	専攻	コース
人間教育学部 ※1	教育・心理学科	初等・中等（英語）教育専攻	児童生徒教育コース
		心理・文化専攻	こども発達コース
国際人間学部 ※2	ことばと文化学科		
	こども学科		
看護栄養学部	看護学科		
	健康栄養学科		
人間科学研究科	心理臨床学専攻		

※1 人間教育学部：平成31年4月開設

※2 国際人間学部（廃止）：平成31年4月学生募集停止（3年次編入学は令和3年4月学生募集停止）
国際人間学部ことばと文化学科及びこども学科については、平成31年3月31日に当該学部学科に在学する者が当該学部学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

学部、学科、研究科、専攻ごとの教育研究上の目的（令和4年5月1日現在）

本学は、カトリック精神に基づく人格教育を行い、学問研究及び教育の機関として、女子に広い知識と深い専門の学芸とを教授し、知的・道徳的及び応用的能力をもつ人間形成につとめ、真理と平和を愛し、文化の発展と人類の福祉に寄与する人物を育成することを使命とする。

人間教育学部は、カトリック精神に基づき、広い視野と豊かな人間性を育み、「チーム学校」の理念のもと、教員、保育士、公認心理師等の養成を通して幅広い人間教育を行い、広く社会の教育・対人援助の分野で貢献できる高度な専門的知識と実践的な指導力を備えた人材の養成を目的とする。

教育・心理学科においては、多種多様な専門職・機関及び地域との連携・協働に優れたリーダーシップを発揮し、学校教育を内外から支える力を身につけた人材を養成する。初等・中等（英語）教育専攻は、教員養成を主たる目的とする専攻であり、「チーム学校」の理念のもと、学校教育において要求される高度な専門性を持った教員の養成を行う。心理・文化専攻は、「チームとしての学校づくり」の中核をなす高い専門的知見を備えた心理専門職の育成を行う。

国際人間学部は、キリスト教的ヒューマニズムの精神に基づき、現代人が身に付けておくべき品性と感性を磨き、広い視野と的確な判断で、現代社会が抱える諸問題に的確に対応できる女性を育てることを目的とする。

ことばと文化学科においては、世界を認識する重要な手がかりとなることばや文化に対する感性を研ぎ澄まし、教養豊かな人間性によって国際社会で活躍できる女性を育成する。

こども学科においては、こどもの心・育ち・学びをさまざまな角度から理解し、こどもと直接かかわる体験的・実践的教育を通して、個性豊かな知性と感性を育み、心をケアできる援助専門職を養成する。

看護栄養学部は、カトリック精神に基づく人間観を基盤とし感性豊かな人間性を養い、いのちに対するやさしさを具現化する看護職者と高度な栄養指導を行う管理栄養士の養成を通して、保健・医療・福祉活動に貢献できる幅広い知識・技術・判断力を身に付け、現代社会のニーズに的確に対応できる女性を育てることを目的とする。

看護学科においては、人間愛を基盤とし、人間関係が調整できる資質を備え、看護に携わる専門職者として必要な基礎知識・技術および態度を修得し、社会に貢献しうる人材を育成する。

健康栄養学科においては、高度な専門的知識・技術を併せ持ち、社会のニーズや変化に対応し、国民の健康長寿の要として、一人ひとりにきめ細かい栄養指導のできる人材を育成する。

本学大学院は、カトリック精神に基づき、広い視野に立って、精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な能力を養い、地域と世界に貢献しうる有能な人物を育成するとともに人類の平和及び文化と福祉の発展に寄与することを目的とする。

人間科学研究科心理臨床学専攻では、より高度な専門的知識を身につけた心理臨床の専門職業人を育成し、多様な分野での課題解決に必要とされている臨床心理士等の人材を育成することを目的としている。

学校教育法施行規則第百六十五条の二 第一項の規定により定める方針（令和4年5月1日現在）

卒業（修了）認定・学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）、入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）を学部、大学院のホームページで公表している。

学部の各方針	https://www.k-junshin.ac.jp/jundai/about/policy/
大学院の各方針	https://www.k-junshin.ac.jp/jundai/graduate/g-about/